

大阪府 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業
兵庫県 空飛ぶクルマ実装促進事業
大阪市 空飛ぶクルマ社会実装促進事業
令和6年度 事業計画書 説明用資料

飛行実証等ビジネス化に資する取組み

大阪・関西万博での2地点間運航と
将来的な旅客輸送サービスの実現に向けた取組み

令和6年8月5日

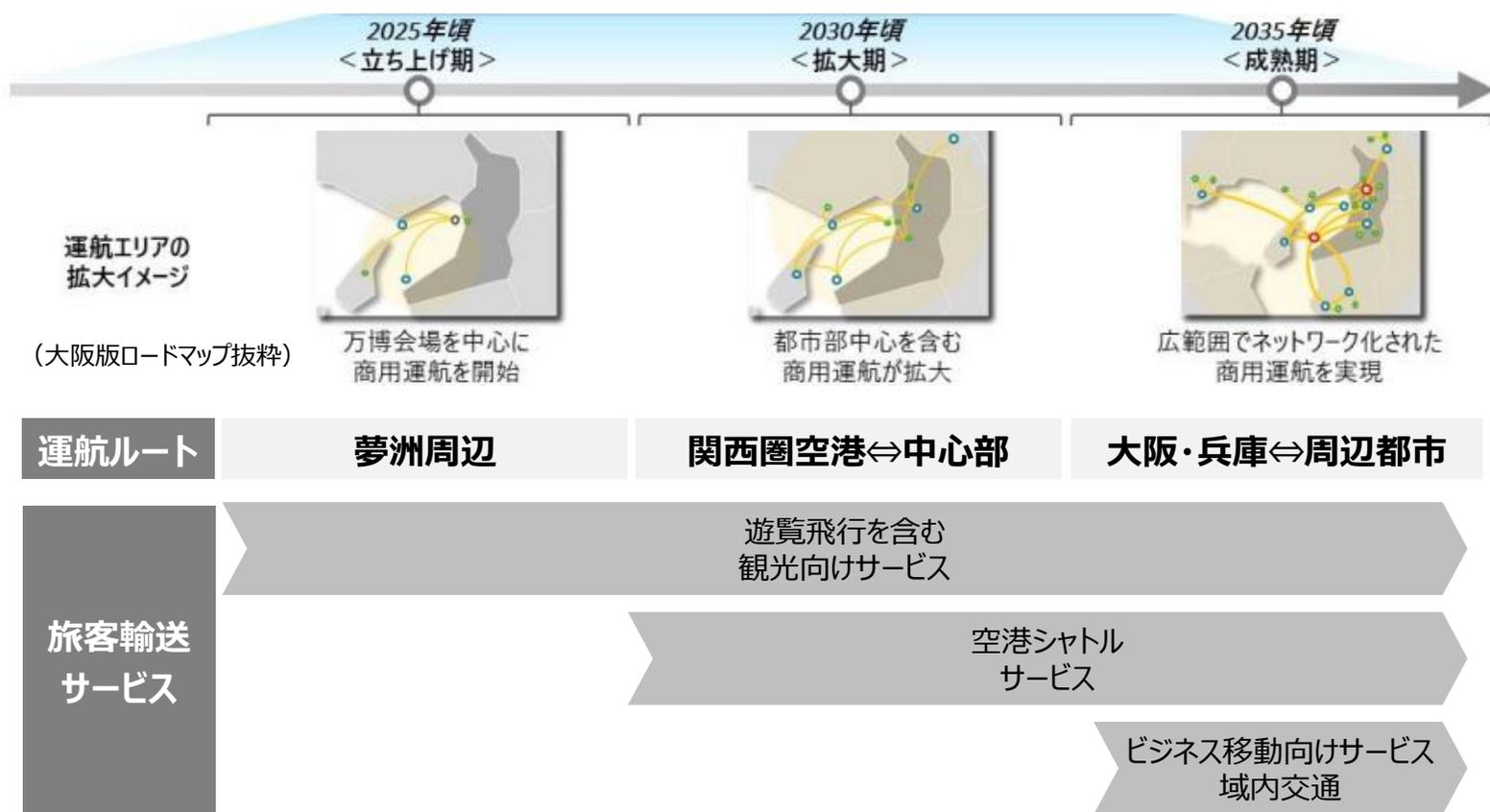
日本航空株式会社
住友商事株式会社



「目指す姿」と「実現に向けた取り組み」

＜私たちが目指す姿＞

- 日本航空・住友商事で連携の上、**2025年大阪・関西万博を契機として、旅客輸送サービスのビジネス化**を実現。
- 万博以降は、**大阪版ロードマップの展開ステップに沿って段階的にサービスを拡大**。



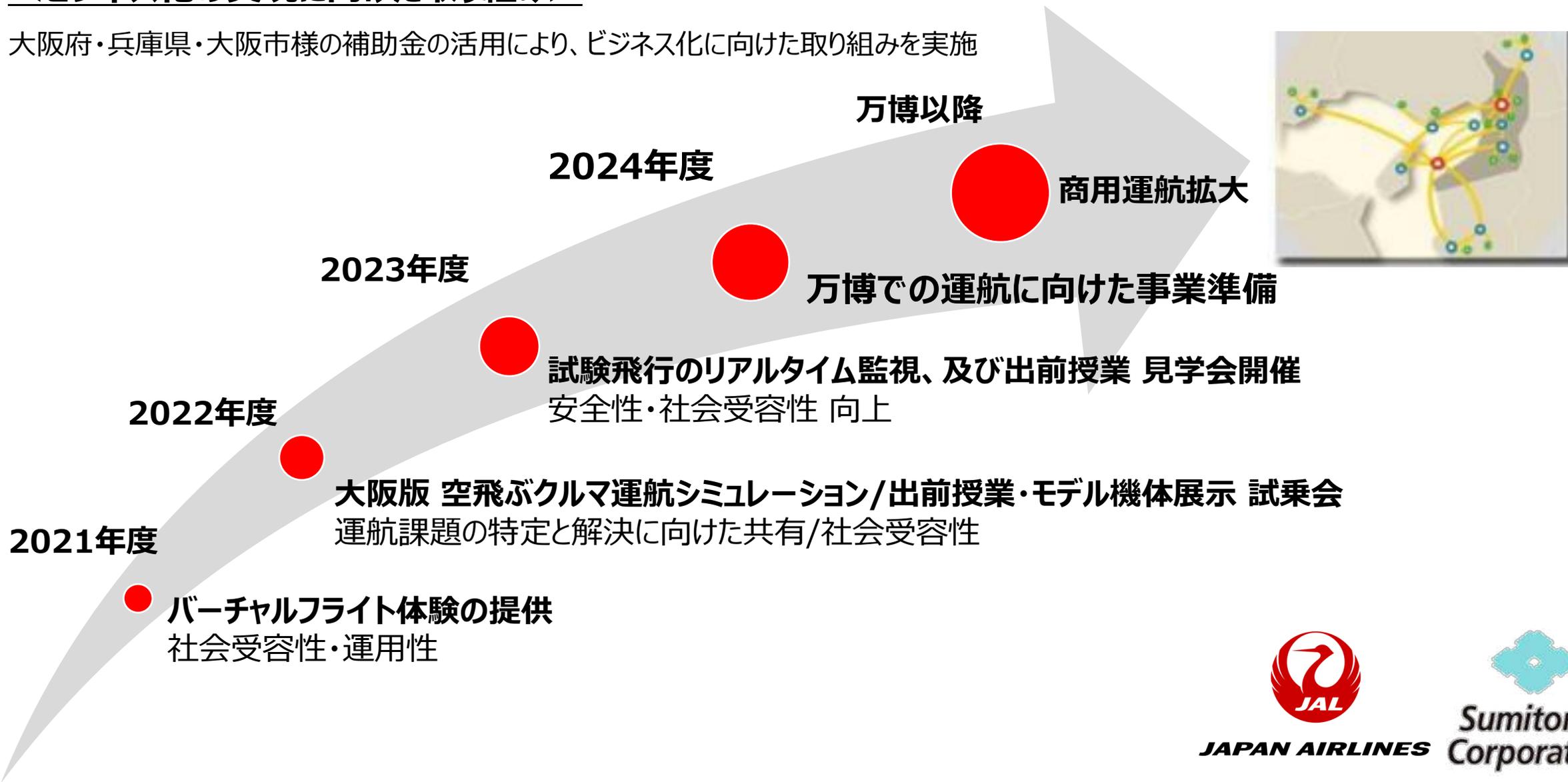
(運航ルートの例)



「目指す姿」と「実現に向けた取り組み」

<ビジネス化の実現に向けた取り組み>

大阪府・兵庫県・大阪市様の補助金の活用により、ビジネス化に向けた取り組みを実施



課題認識、及び本事業の目的

1. 旅客輸送サービス実現に向けた課題

- 空飛ぶクルマ事業の立ち上げに向けては、サービス提供の根幹となる機体開発が順調に進んでいくことが大前提
- 機体開発の進捗を見極めながら、状況に応じた準備作業を進めることが肝要

	機体開発	社会・顧客	運航事業者
運航初期 段階 (大阪・関西万博時)	万博に向けた機体開発・ 型式認証の取得 ⇒初期機材の引き渡し	新たな乗り物として、 空飛ぶクルマを体験	課題① 初期段階の運航体制の確立
運航規模 拡大 (万博以降)	量産化に向けた 製造効率化 実運航時の施設	課題③ 従来の航空機と同様、 身近な乗り物として利用	課題② 運航規模拡大に向けた 効率的な事業運営・体制拡充

2. 本事業の目的

<運航事業者として>

- 初期段階の運航体制・事業基盤を確立することにより、大阪・関西万博での2地点間運航を実現（課題①）
- 万博以降の旅客輸送サービス拡大に向けて、運航体制拡充のためのプロセスの整理、ノウハウの蓄積（課題②）

<空飛ぶクルマ業界の発展に向けて>

- 旅客輸送サービスを身近に感じてもらえる施策の実施による、社会受容性の更なる向上（課題③）

事業内容のご説明

1：空飛ぶクルマ運航の事業準備にかかる取り組み

以下の取り組みにより運航体制・事業基盤の確立を図る。

①パイロット・整備士訓練の実施、及び訓練ノウハウの蓄積

万博での運航に必要なパイロット・整備士の資格取得
(約3ヶ月間)

訓練過程を通じた人材育成ノウハウの蓄積、体系化

人材育成体制・プロセスの確立

効率的なパイロット・整備士の育成による万博後の人員規模拡大

②機体輸送の実施、及び輸送ノウハウの蓄積

機材の機体輸送

- 空輸調整
- バッテリー輸送
- 機体解体・組み立て
- 機体登録

機体輸送実績で得られた輸送ノウハウの蓄積、プロセス標準化

輸送体制の確立

効率的な機材輸送による万博後の機材数の増加

③運航に関わるその他の諸準備

その他の体制構築

- 運航管理事務所の立ち上げ
- 運航管理システムの設置
- 無線機器の設置 など

万博運航に向けた慣熟(運航精度の向上)

運航規模拡大に向けた体制拡充

万博後の空域管理や次世代機での運航可能性も見据えた体制構築

内の作業は本年度の取組み事項であり、大阪ラウンドテーブルでの結果報告も含む
以降は来年度以降に目指していく姿であり、この進捗は大阪ラウンドテーブルでの報告を想定

2：社会受容性向上施策

事業内容1で得られた成果を活用して、以下の取り組みにより社会受容性の更なる向上を目指す。

パイロット・整備士による、実機を活用した空飛ぶクルマ教室の開催

パイロット・整備士の訓練・慣熟
(事業内容1①)

機材の機体輸送
(事業内容1②)

実機を活用した空飛ぶクルマ教室の開催
<実施内容(案)>

- パイロット・整備士の業務紹介
 - ①空飛ぶクルマの操縦方法
 - ②空飛ぶクルマの仕組み解説
- 地上での搭乗体験
- 試験飛行見学

